

書家 金澤翔子展  
共に生きる



【会期】令和6年7月21日(日)～9月8日(日)  
【会場】枕崎市文化資料センター南浜館  
〒994-0011 枕崎市南浜町山手町175  
mail: bunkashiryu@city.nankai.akita.jp  
TEL: 0182-52-2100 fax: 0182-52-2118  
【観覧料】一般500円・大学生300円・中学生以下無料  
※チケット1枚で前期、後期の両方観覧できます

### 書家金澤翔子展～共に生きる～

ダウン症という障がいを抱え、母親と地元商店街の人々に支えられながら、揮毫・個展を重ね書家として歩み続ける金澤翔子氏の今を表現する作品展です。

親子、二人三脚で書家として確実に歩みを進められる姿、純粋で一途、愛に満ち地域の人々と共に今を生きる姿を伝える展覧会として開催しています。

2012年放送のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字作品や、東京五輪の公式アートポスターとして制作した「翔」の金箔原画など、国内外で発表した大作を中心に展示します。また、金澤翔子氏の近年の活動の一つとして、世界でダウン症への理解を深めることを目的とした国連本部会合でのスピーチの様子などを動画で上映しています。

- 会期 前期 ～8月17日(土)  
後期 8月18日(日)～9月8日(日)  
※前期・後期とも会期中無休  
※8月18日(日)から作品を一部入れ替えて展示
- 観覧料 一般500円、大学・高校生300円、中学生以下無料  
※チケット1枚で前期、後期の両方観覧できます



### スポーツ・文化イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00  
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日  
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課  
TEL72-9998

“The Picture & The Title” A KinShiotani Exhibition

キン・シオタニ展  
絵と題名



生きれば生きるほど死に向かっていくという  
現実になじるいだもの、とりあえず今は  
コーヒーを淹れようと考えている青年

枕崎にゆかりのある旅するイラストレーター  
キン・シオタニの絵と言葉の世界

2024. 9.15(日) - 10.16(水)

ワークショップ開催!  
9月15日(日) 14時より  
※30名無料

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)  
【観覧料】一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料 【会場】南浜館

### キン・シオタニ展～絵と題名～

東京生まれで枕崎をたびたび訪れている『旅するイラストレーター』キン・シオタニ氏による展覧会です。ユニークな作品を通して、アートのおもしろさだけでなく、普段気付かない枕崎の良さを伝える展覧会として開催します。また、展覧会初日には、ワークショップ「キン・シオタニさんと一緒に絵をかくて題名をつけよう!」を開催します。お気軽にご参加ください。

- 会期 9月15日(日)～10月16日(水)※月曜休館  
※祝祭日の場合は翌日休館
- 観覧料 一般200円、大学・高校生100円、中学生以下無料

ワークショップ「キン・シオタニさんと一緒に絵をかくて題名をつけよう!」

- 日時 9月15日(日) 14:00～16:00
- 参加定員 40名
- 参加料 無料(保護者と一緒の場合は、保護者の方の入館料は無料)
- 申込み 9月12日(木)までに電話で申し込みください



▲野球指導の様子

今月の担当は  
いま  
今 隊員 です!

こんにちは!協力隊の今です。8月になり、本格的に暑い日が続いています。熱中症には気を付けながら、暑さに負けず思いきり夏を楽しみましょう!



少年野球大会 第69回枕崎市少年野球大会に向けて、昨年に引き続きいくつかのチームへ野球指導をさせていただきますました!  
同じチーム内に野球を普段からしている子と普段はしていない子が一緒にになり、1つのチームとして活動し、お互いにいつもと違った環境・空気感・緊張感の中で協力をしながら試合に備える、挑んでいく姿は見えていとても興味深く、感心し、心がホッコリします。普段とは異なる環境で野球を楽しむことができるのはとても特別な体験になると思います。この少年野球大会は子どもたちにとって特別な場であり、一生の思い出になるはず。この大会が開催されることにより、選手として参加した子どもたちや、観戦・応援をした大人の方々も地域の団結力や温かさを感じることができ、機会になると思います。  
年々、参加チーム数・参加者数共に減少傾向にあります。私はこの少年野球大会をこれからも続けて開催してほしいと願っています。

盛り上がりつつある競技をご存知でしょうか?従来の野球・ソフトボールの簡易版のような競技になります。試合は野球やソフトボールよりもコンパクトな会場で行われます。そして最大の違いは投手というポジションがないことです。ベースボールファイブでは、打者が自ら打棒を握り、それを手で打ちます。ゴムボール競技なのでグローブやバットは使用しません。そのため、誰でも簡単に競技を始めることができます。素敵な競技です。  
そんな親しみやすい競技に触れ、たくさんの方の可能性があることが、球技に対しての恐怖心等がなくなることを願って、本市のスポーツ少年団のリーダー研修時に枕崎イグニス選手が講師となりベースボールファイブの体験をしていただきました。普段野球をしている子どもでもない子も一緒にになり、楽しめたのではないかと思います。研修の最後には、枕崎イグニスの選手も参加し、少年団員の子どもたちと対戦しました!楽しくてあっという間に研修が終わってしまいました。今後も野球やベースボールファイブの魅力伝えていきたいです!

### 市長 コラム vol.64

#### 高校野球の力、高校生の力。

夏の全国高校野球鹿児島県大会でベスト4まで勝ち上がった枕崎高校の大活躍は私たち枕崎市民に感動と元気を届けてくれました。ありがとうございます。

私自身、枕崎高校野球部の卒業生として後輩たちの活躍を遅く心強く感じました。毎年、私は夏の甲子園予選の前に「枕崎高校野球部新聞」に応援メッセージを掲載させていただいています。今年の新聞には「今年は何かが起こりそうな予感」と題してチームの旋風を期待した文章を書かせていただきました。今年の3年生が1年生の秋の県大会で見せてくれたプレーに、彼らの2年後の活躍への期待を抱いたことを思い出して、この夏の大会へ大きな期待を感じていること、大会までの一日一日を大切に、細部まで気を配って過ごしてもらいたいこと、そして、日ごろの野球部員の礼儀正しく、元気な挨拶に市民の皆さんが元気をもらっていることに對する感謝の気持ちを、その応援メッセージの中に記しました。彼らの、この夏の活躍は私たちの期待以上の素晴らしい活躍でした。繰り返しになりますが、感動をありがとうございます!

今年の大会では鹿児島水産高校も2回戦まで進出して、8点のリードを追いつくという素晴らしい粘りの試合を見せてくれました。両校は毎年、生徒会主催の交流試合を行うなど野球をはじめ、それ以外のところでもお互い切磋琢磨を続けてきています。  
この夏の大会の両校の活躍を通して、高校野球の素晴らしさ、高校生の地域を元気づける力を、あらためて感じることができました。

